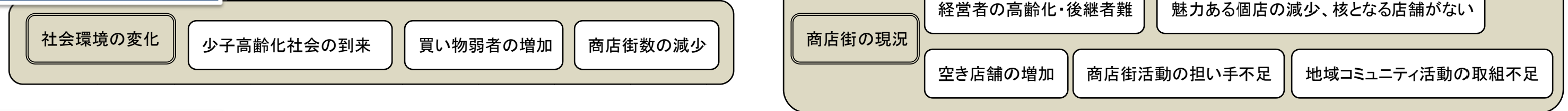


あいち商店街活性化プラン 2016-2020（仮称）の概要

1. あいち商店街活性化プラン 2016-2020（仮称）とは

本県の産業労働施策の基本方針を示す「あいち産業労働ビジョン 2016-2020（仮称）」の個別計画として、「持続可能な活力ある商店街」の創出を目指し、商店街関係者に対して、県の商店街振興の基本的な考え方や具体的な施策などを示すもの。計画期間は、2016年度（平成28年度）から2020年度（平成32年度）までの5年間。

2. 商店街を取り巻く状況



3. 目標

地域とともに歩む「持続可能な活力ある商店街」の創出

【成果指標（アウトカム指標）①】

・商店街活性化の成功事例：25件（2020年度までに）

【成果指標（アウトカム指標）②】

・主な商店街のうち、通行量の改善した商店街の割合：各年度 60%

4. 基本的な考え方

①支援の新たな考え方

○従来からの補助金を中心にした支援に加えて、

個々の商店街ごとに、その実情に応じた、きめ細かいハンズオンによる支援

②まちづくりへの意識

○従来からの商店街を中心にした支援の視点に加えて、

市町村の中心市街地等における、まちづくりと商店街振興を一体的に推進

5. 重視すべき支援の視点

≪視点1≫ 商機能の強化

○商店街が抱えている主な課題である商機能の強化を図るため、引き続き、商店街の取組を後押し。

≪視点2≫ 「地域コミュニティの担い手」としての機能強化

○地域住民からの期待に応えるため、引き続き、地域コミュニティ機能の充実に向けた商店街の取組を後押し。

≪視点3≫ 多様な主体との連携の促進

○商店街活動の深刻な担い手不足に対応するため、多様な主体との連携による取組を後押し。

≪視点4≫ 担い手の育成と外部人材の活用の促進

○商店街組織の基盤強化を図るため、担い手の育成や外部人材の活用を後押し。

6. 4つの施策の柱

柱1 社会環境の変化に対応した商機能の強化への支援

[具体的な取組例]

- ◆生鮮三品を中心とした「マルシェや定期市等の開催」
- ◆空き店舗・空きビルなどを活用した「集客拠点の整備」◆支援機関による経営支援 等

柱2 「地域コミュニティの担い手」としての取組の充実への支援

[具体的な取組例]

- ◆空き店舗を活用した高齢者向け交流サロンや子育て支援施設の運営
- ◆宅配サービスや移動販売、御用聞きサービス 等

柱3 地域・商店街を応援する多様な主体と連携した取組への支援

[具体的な取組例]

- ◆大学、地域住民、NPO、まちづくり会社等との連携による協働事業の実施
- ◆「あいち商店街利用促進会議（仮称）」の設立、施策提言等の実施 ◆大規模小売店舗との共生 等

柱4 商店街の担い手育成と外部人材の積極活用への取組への支援

[具体的な取組例]

- ◆後継者を養成する研修会の開催 ◆空き店舗を活用したチャレンジショップの運営
- ◆商店街マネージャーや外部専門家による活性化支援 等